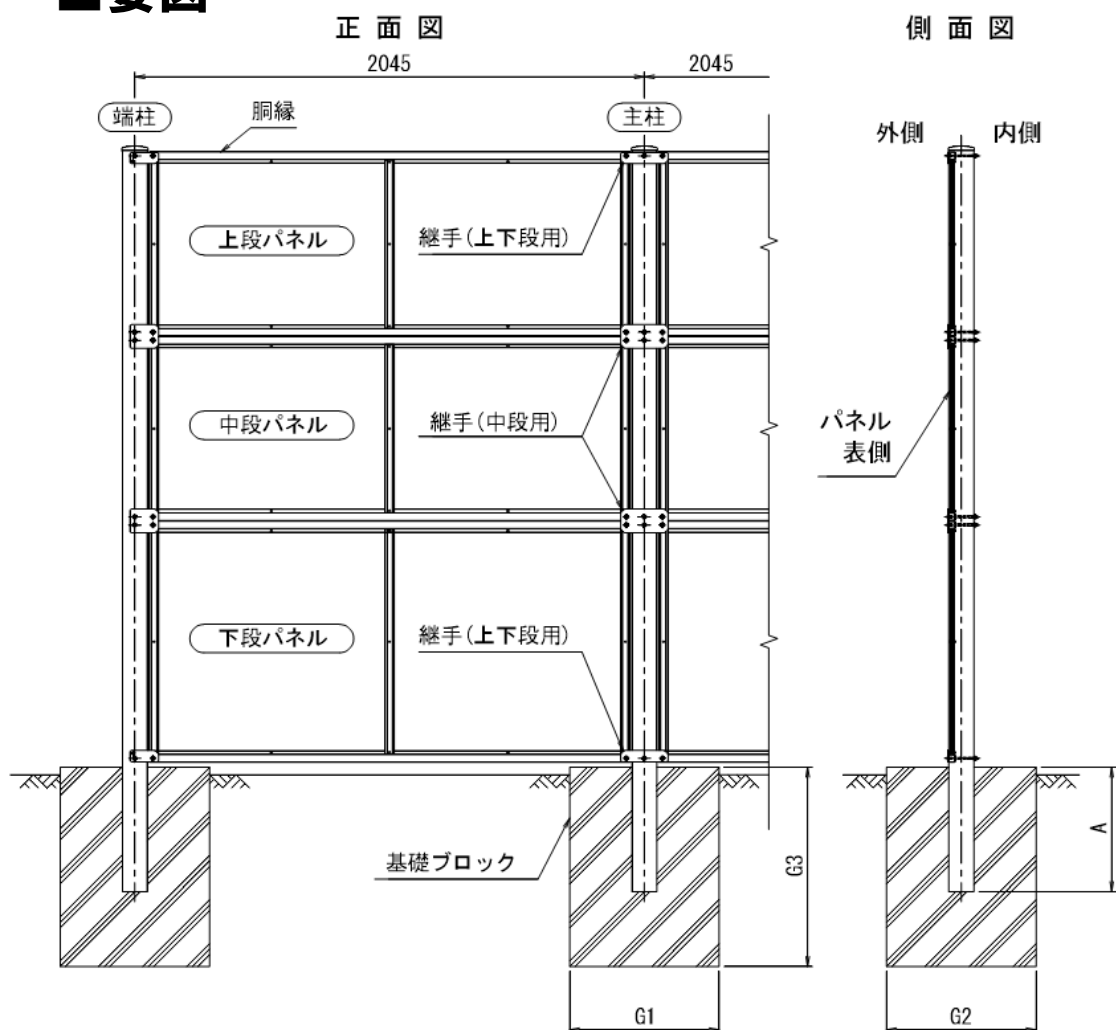


目かくしフェンス Jブラインド JKB型 (H2200・H2500・H3000)

組立説明書

■ 姿図



■ 基礎サイズと柱の埋込み深さ

[mm]		
高さ H	基礎サイズ G1×G2×G3	柱埋め込み寸法 A
H2200	600×600×700	400
H2500	600×600×800	500
H3000	650×650×1000	500

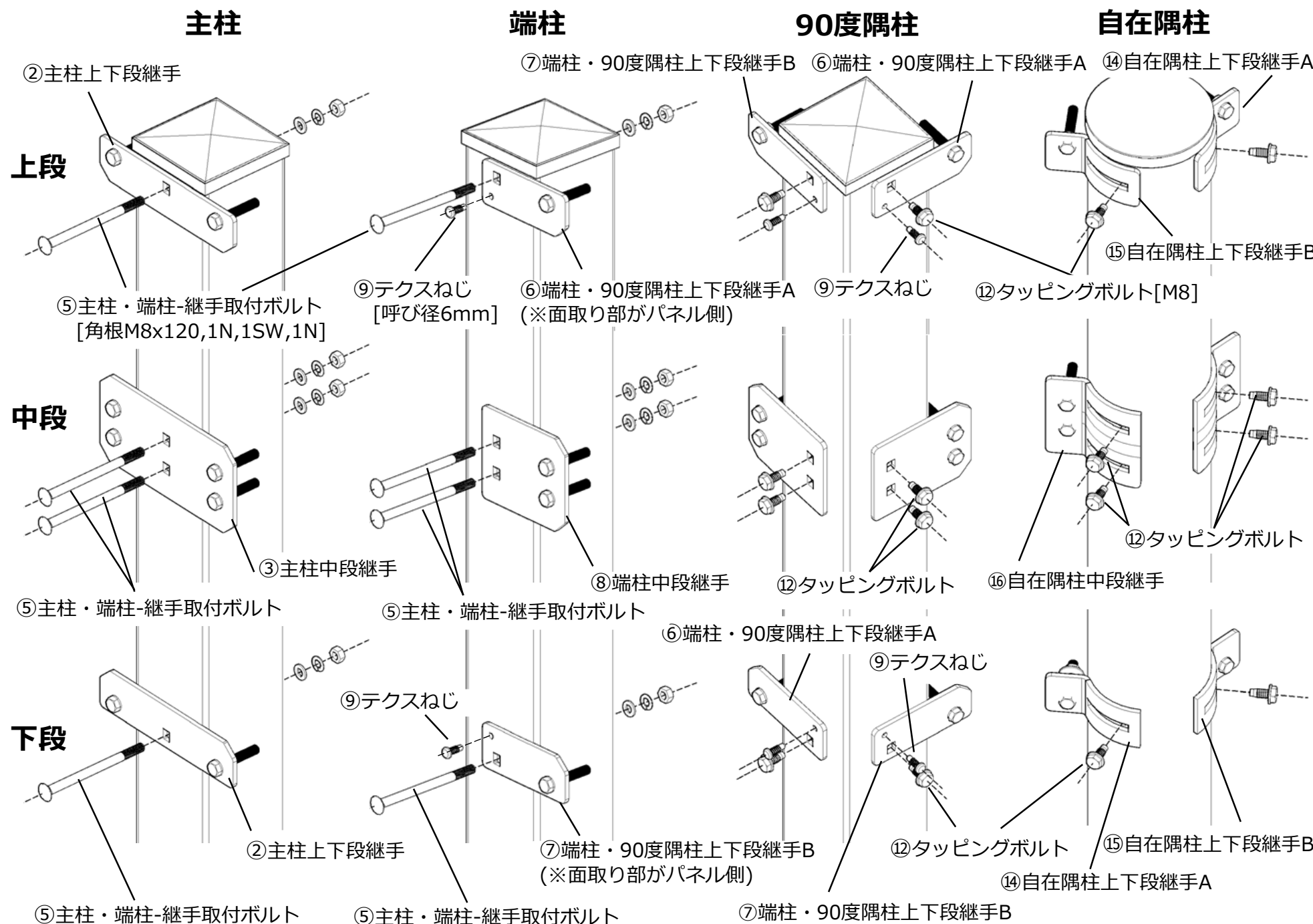
※) 昭和57年改正 建築基準法・同施行令に基づく風圧力に準拠
および長期許容地耐力98kN/m² の場合

1 | 柱と基礎の設置

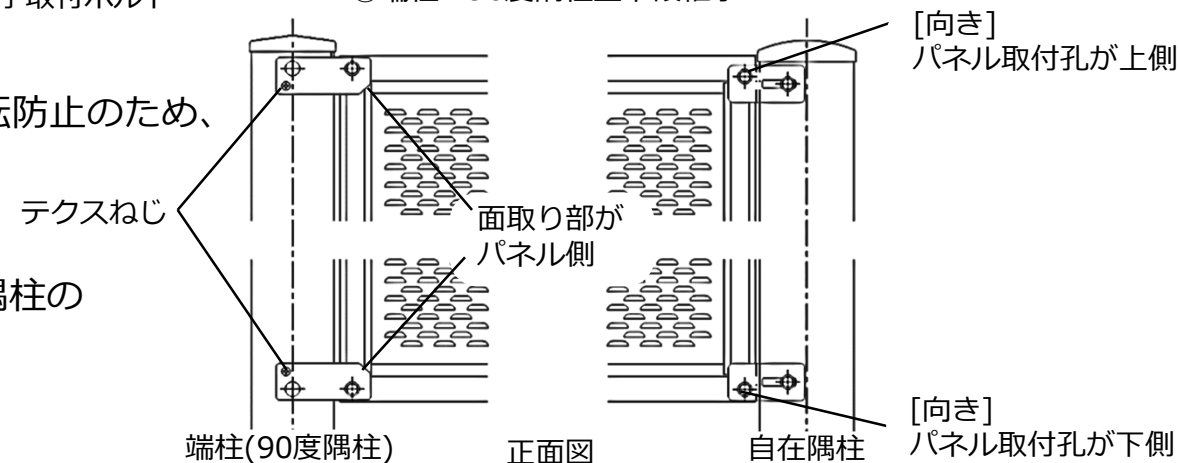
- 柱スパンは2045±5mmを標準として設置してください。
※但し、自在隅部では柱径が大きくなり、パネルの設置遊間が狭くなるため、必ず2045mm以上を確保してください。
- 所定の柱埋め込み寸法にて建柱を行ってください。
- 隅柱部では芯ズレが生じるため、次頁の注2を参照してください。

2 | 継手の取付

- 柱に継手を取付けてください。(フェンスの外側を取付けてください。※入隅の場合は次頁の注1を参照して下さい。)
- 端柱、隅柱はタッピングボルト[M8]で片側から締結してください。(支柱に下孔が空いています。)



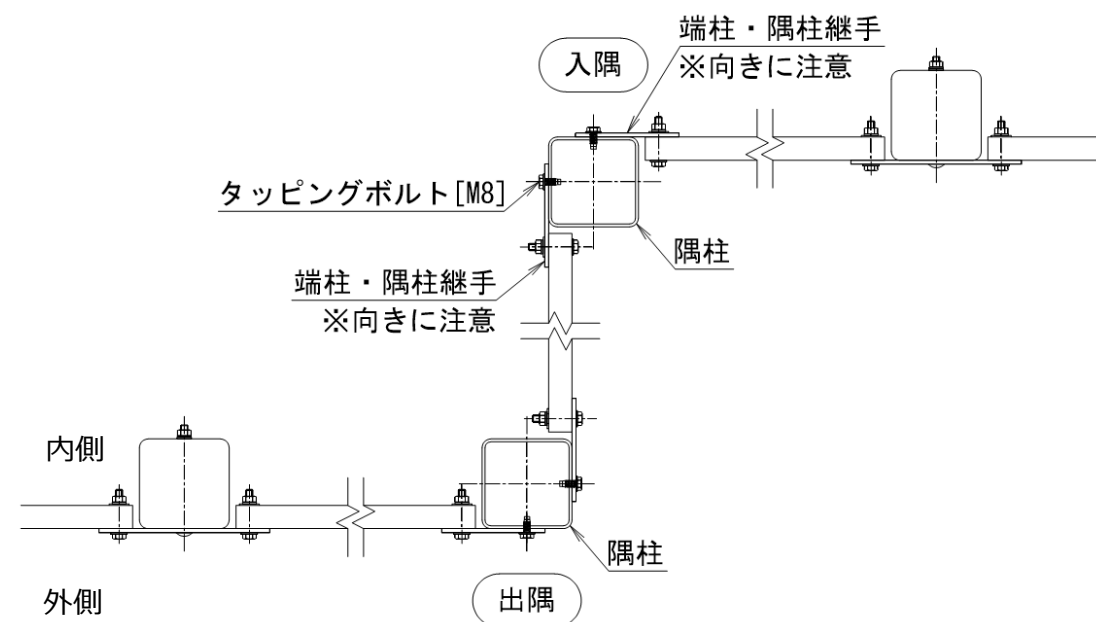
- 端柱・90度隅柱の上下段用継手のみ、回転防止のため、テクスねじ[呼び径6mm]でねじ切り後、固定してください。
- 端柱・90度隅柱の上下段継手および自在隅柱の上下段継手には上下向きがあります。右図を参考に取付けてください。



注1 | 入隅の場合

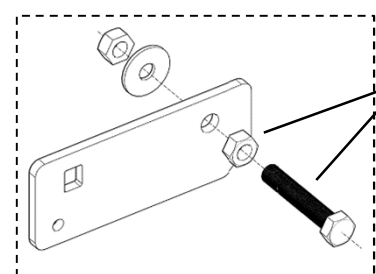
【1】 継手の取付方向

- 入隅の隅柱においては、継手を内側に取付けてください。

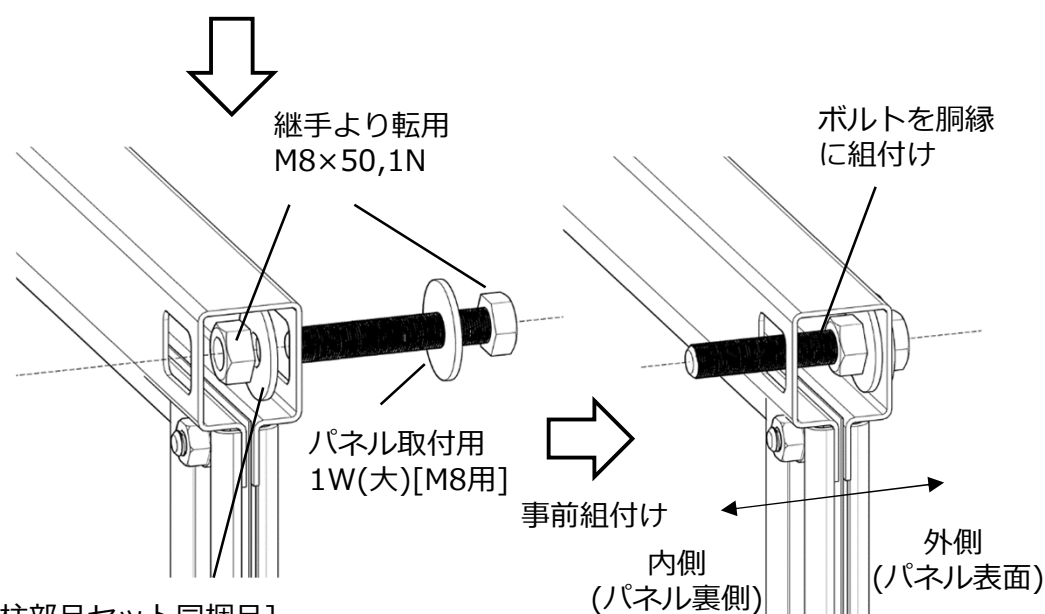


【2】 パネルへボルトを組付け

- パネルを継手に設置する前に、継手からボルトを取り外し、下図を参考にパネルへ事前組付けを行ってください。



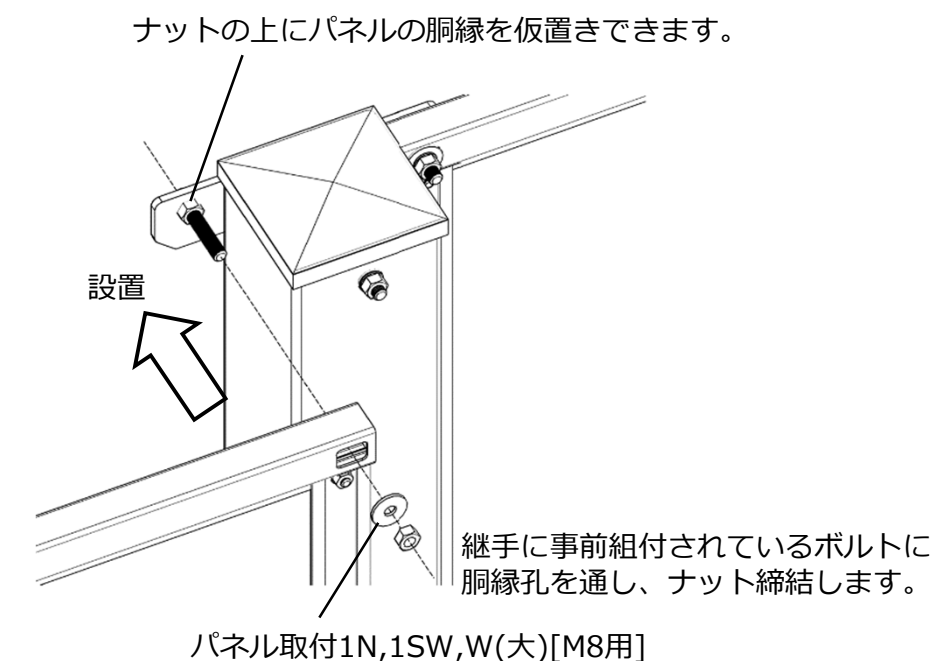
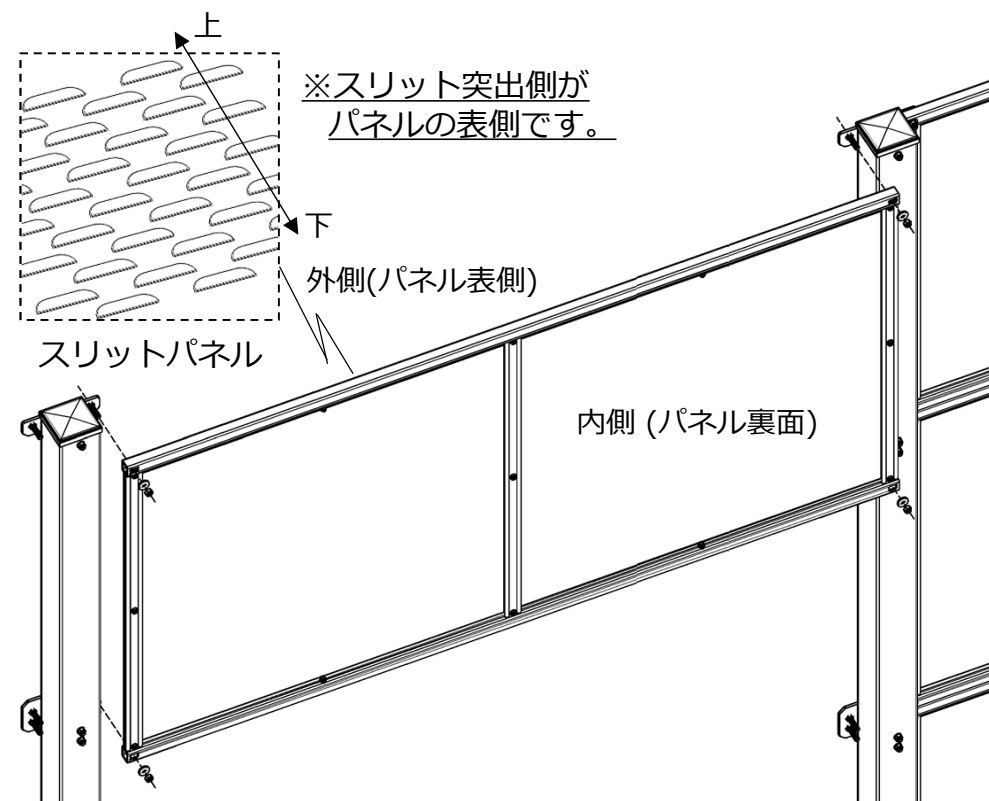
継手からボルト、ナットを取り外しておく



[隅柱部品セット同梱品] 胴縁取付用1W(大)[M8用]

3 | パネルの取付

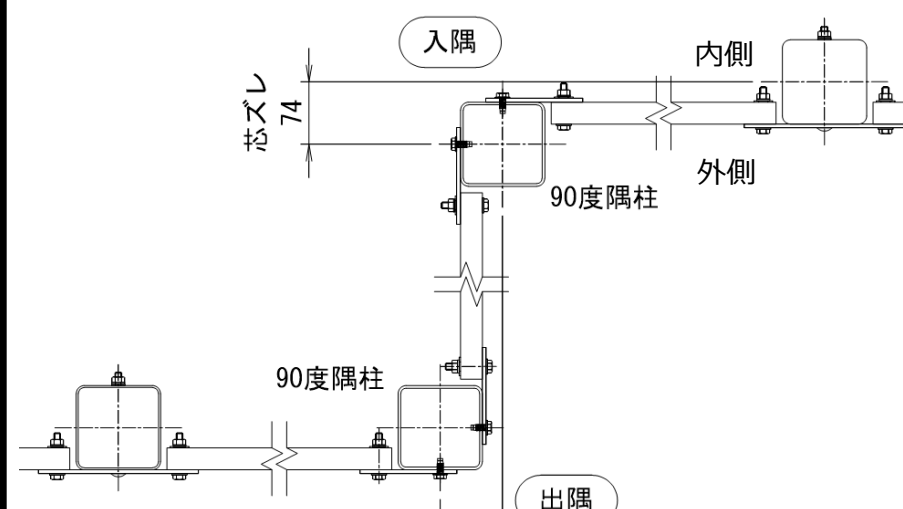
- 継手にパネルを仮置きし、ナットで締結します。[M8]
- パネルには設置向きがあります。下図を参考に設置してください。



注2 | 隅柱における芯ズレ距離

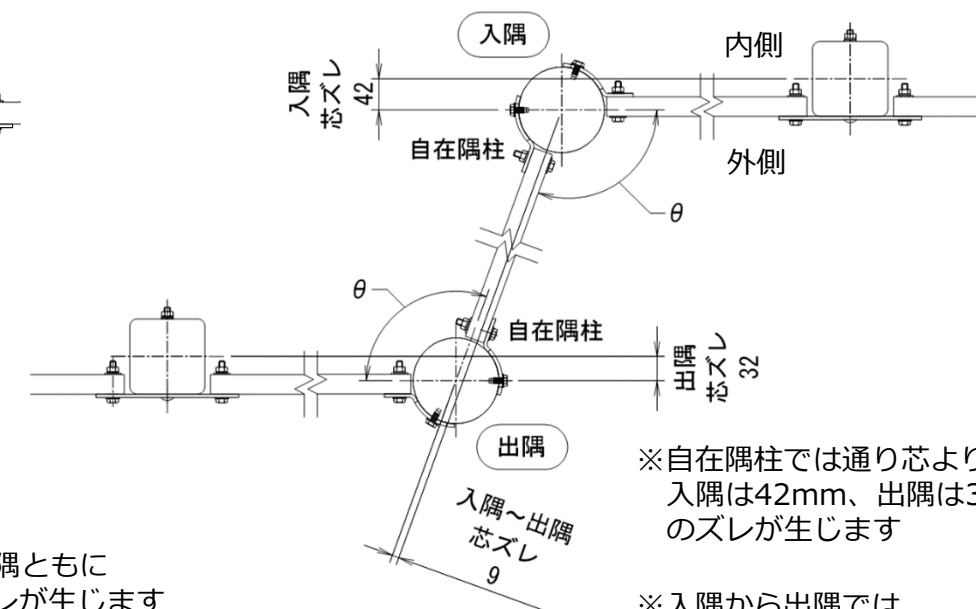
- 隅柱部においては下図を参考に、芯ズレを考慮し、設置を行ってください。

【1】 90度隅柱



※90度隅柱では入隅・出隅ともに通り芯から74mmのズレが生じます

【2】 自在隅柱



※自在隅柱では通り芯より、入隅は42mm、出隅は32mmのズレが生じます

※入隅から出隅では通り芯が9mmズレが生じます。

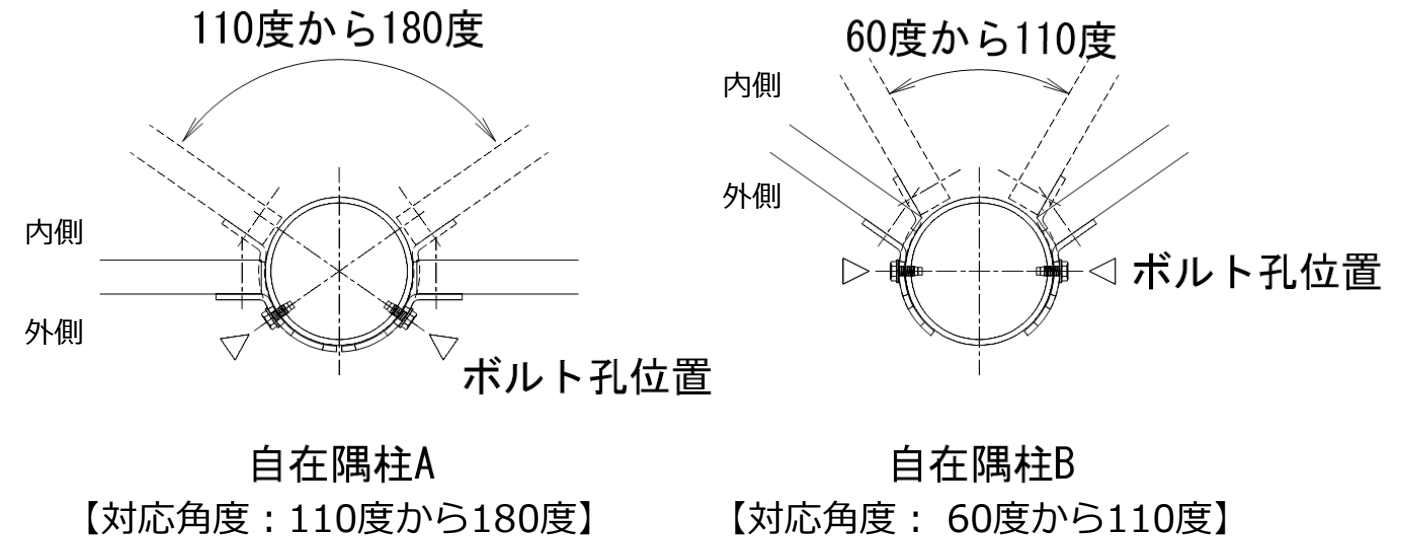
部品数量表

数量表

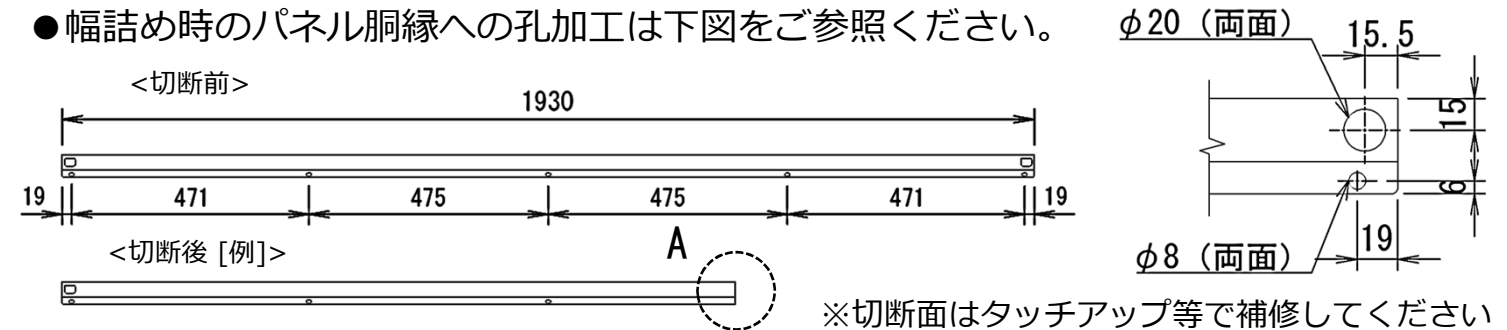
セット名	番号	項目	サイズ	数量			単位		
				H2200	H2500	H3000			
主柱セット	主端柱	① 主柱(端柱兼用)	□100×100	1	1	1	本		
	主柱部品セット	② 主柱上下段継手		2	2	2	個		
		③ 主柱中段継手		1	2	2	個		
		④ パネル取付ナット・座金	M8用(1N,1SW,1W[大])	8	12	12	組		
		⑤ 主柱・端柱一継手取付ボルト	角根M8×120,1N,1SW,1N	4	6	6	組		
端柱セット	主端柱	① 主柱(端柱兼用)	□100×100	1	1	1	本		
	端柱部品セット	⑥ 端柱・90度隅柱上下段継手A		1	1	1	個		
		⑦ 端柱・90度隅柱上下段継手B		1	1	1	個		
		⑧ 端柱・90度隅柱中段継手		1	2	2	個		
		④ パネル取付N,W,SW	M8用(1N,1SW,1W[大])	4	6	6	組		
		⑤ 主柱・端柱一継手取付ボルト	角根M8×120,1N,1SW,1N	4	6	6	組		
		⑨ テクスネジ	+6×19S	2	2	2	本		
		隅柱セット	隅柱	⑩ 90度隅柱	□100×100	1	1	1	本
		90度隅柱部品セット	⑥ 端柱・90度隅柱上下段継手A		2	2	2	個	
⑦ 端柱・90度隅柱上下段継手B			2	2	2	個			
⑧ 端柱・90度隅柱中段継手			2	4	4	個			
④ パネル取付ナット・座金	M8用(1N,1SW,1W[大])		8	12	12	組			
⑪ 入隅用座金	M8用(1W[大])		4	6	6	枚			
⑫ タッピングボルト	M8×18C		8	12	12	組			
⑨ テクスネジ	+6×19S		4	4	4	本			
自在隅柱Aセット	自在隅柱A	⑬ 自在隅柱A	φ114.3	1	1	1	本		
	自在隅柱部品セット	⑭ 自在隅柱上下段継手A		2	2	2	個		
		⑮ 自在隅柱上下段継手B		2	2	2	個		
		⑯ 自在隅柱中段継手		2	4	4	個		
		④ パネル取付ナット・座金	M8用(1N,1SW,1W[大])	8	12	12	組		
		⑪ 入隅用座金	M8用(1W[大])	4	6	6	枚		
⑫ タッピングボルト	M8×18C	8	12	12	組				
自在隅柱Bセット	自在隅柱B	⑰ 自在隅柱B	φ114.3	1	1	1	本		
	自在隅柱部品セット	⑭ 自在隅柱上下段継手A		2	2	2	個		
		⑮ 自在隅柱上下段継手B		2	2	2	個		
		⑯ 自在隅柱中段継手		2	4	4	個		
		④ パネル取付ナット・座金	M8	8	12	12	組		
		⑪ 入隅用座金	M8用(1W[大])	4	6	6	枚		
⑫ タッピングボルト	M8×18C	8	12	12	組				
パネル		⑱ H750パネル		—	2	—	枚		
		⑲ H1000パネル		1	1	3	枚		
		⑳ H1200パネル		1	—	—	枚		

自在隅柱の種類

- 自在隅柱は設置角度に応じて、A・Bの2種類がございます。
- タッピングボルトの下孔位置で種類を見分けることが可能です。(下図の△マーク)



パネルの幅詰め



注意

● 施工注意点

- ① 商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。
- ② 基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より30mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がった埋まったりしないようにしてください。
- ③ 施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。
- ④ 組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。
- ⑤ 塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

● 取扱い注意点

- ① 標準フェンスに他の付属物(防風ネット、目隠し板等)を取付ける場合は、必ず弊社までお問合せの上、強度の確認をしてください。お問い合わせの無い場合、破損等に対する責任を問いかねます。